

【1 分解説】JSL カリキュラムとは？

総合調査部 政策調査グループ 次長 宍戸 美佳

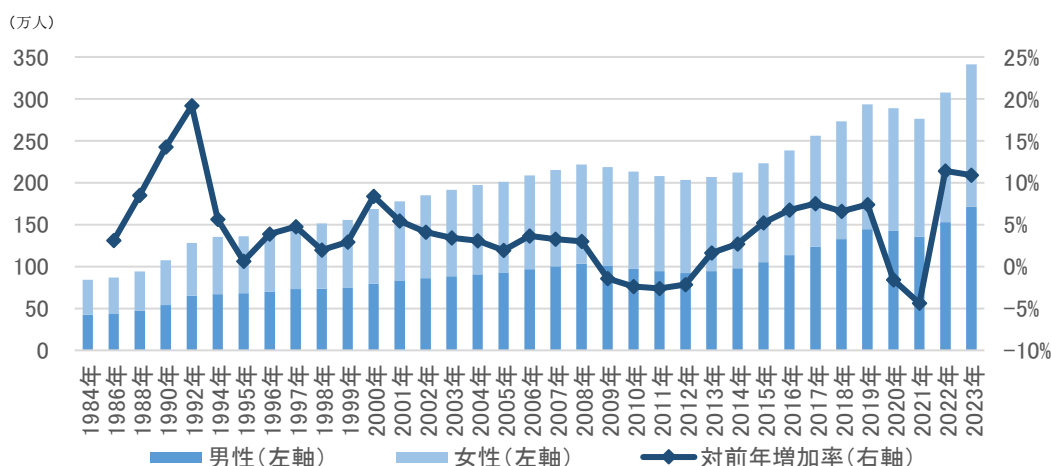
JSL (Japanese as a Second Language) カリキュラムとは、日本語を母語としない子どもたちの、日常会話はできても学習活動に参加するための日本語力が不足している問題に対処するため、文部科学省が策定した学習プログラムです。

1990 年の出入国管理及び難民認定法改正などを機に、在留外国人が増加し（資料）、これに伴いその家族の子どもたちの日本語教育が課題として認識されるようになりました。このため、2001 年度からカリキュラムの研究開発が進められ、小学校編が 2003 年 7 月に、中学校編が 2007 年 3 月に公表されました。

このカリキュラムは、トピック型と教科志向型で構成されています。前者は教科を問わず、体験・探究・発信を通じて学習活動に参加する力を育成します。後者は、各教科の特性を考慮し、国語・社会・数学・理科・英語などで学習活動に参加する力を育成するものです。このトピック型と教科志向型には、一方が他方の準備となるような「積み上げ」的な関係はなく、並行して実施できるとされています。また、基本的に日本語の初期指導を終えた子どもたちを対象に学習活動に参加するための学ぶ力の育成を目的としています。初期指導の段階でもトピック型が利用できるよう作成されています。

在留外国人の子どもたちは年々増加しており、JSL カリキュラムがより広く活用されることが望まれます。

資料 在留外国人数および対前年増加率の推移



(注) 1984 年から 1994 年のデータは隔年で公表。なお、短期滞在者等は除く。

(出所) 出入国在留管理庁「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」より第一生命経済研究所作成

関連レポート

・「【1分解説】在留資格とは？」(2024年10月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/381683.html>

・「【1分解説】出入国在留管理基本計画とは？」(2024年11月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/387969.html>

・「【1分解説】外国人との共生社会の実現に向けたロードマップとは？」(2024年12月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/396474.html>